

さんぽみち



発行 わがまち大田鵜の木地区推進委員会

連絡先
鵜の木特別出張所
3750-4241

池上七福神に出掛けてみませんか

お正月といえば初詣、今年は、七難即滅、七福即生等、ご利益のある七福神巡りはいかがでしょう。あまり遠出をしなくても、意外にも近くに七福神はあるものです。というわけで今回は、池上の七福神を紹介します。お屠蘇気分であつとあてかけください。



本成院 (福祿寿)
池上1-35-3



厳定院 (弁財天)
池上2-10-12



妙見堂 (寿老人)
池上1-31-11



馬頭観音堂 (大黒天)
池上3-20-4



養源寺 (恵比寿)
池上1-31-1



微妙庵 (毘沙門天)
池上3-38-23



曹禅寺 (布袋尊)
池上7-22-10



わがまちあの人この人

五十年をふりかえって

千鳥二丁目

大久保 善二



上京二年目より千鳥町に住んでいます。昭和二十七年消防団に入団以来四十七年間在籍し任務を終えました。その中で思い出すのは千鳥一丁目の元旦の夜の大火です。また近所のひかり写真館の火事は、今でもはつきり心に焼きついていきます。

当時の消火は東調布消防団第二分団の管轄でした。現在は田園調布消防団9個分団中、鶉の木出張所管内は第三分団となります。

装備は手引き動力ポンプ二台、チェーン装発動機があります。出火の場合、天井まで燃え移らない初期消火がまず大切。次に近所に助けを求め大火の防止。出火と同時に一一九番に通報。その時住所、出火の本体は何か。近所の大きな目標を正確に伝える。初期消火に遅れた際は人命尊重を重視し逃げる。何れにしても安全第一の火の用心と皆で助け合う地域の消火に心がけましょう。

五〇年を振り返って、七代前の成矢会長より現在まで、町会の皆様と一緒に地域防災に務めました。一時的でしたが連続放火には夜も眠れぬ日々がありました。

思いもかけずこの秋の叙勲に際し、勲六等瑞宝章の荣誉に浴し、身にあまる光栄と存じます。今後この荣誉に恥じることなく、地域防災に微力ながら精一杯努めたいと思います。(談)



さんぽしてみませんか 都営地下鉄「大江戸線」その2

落合南長崎～都庁前

千鳥一丁目 水野 敬司



リレーエッセイ 早朝の安全週間から

南久が原一丁目

蓮池

攻

交通安全週間中、町会の役割の一環として踏切りで旗振りをする機会があった。毎年この光景に接しているが、近年子どもたちの数が減ってきている。僅か二十分位の間に、活気ある子供たちの波はすぐに引けてしまう。この現実が今言われている少子化傾向の姿なのだろうか。そういえば公園で遊んでいる姿をあまり見かけない。熟通いで将来を先取りしようとして夢見、約束されたコースに乗ろうと時間を忙しく使っている。大人の社会も余暇の価値観が変わりスポーツ、趣味、勉強と忙しい。この様な時代背景に育った子どもたちが、複雑な社会に順応し、対応することができるとはなかなかならうか。昨今若い年齢層が起す、考えられない事件が多くなってきた。豊かすぎる社会、過剰な情報と忙しすぎる社会の中で引き起こす重苦しい事件も、この社会背景が一因しているかもしれない。今後地域と学校、家庭との連携プレーがより一層大きな役割として重要視されてくるかと思われる。可愛い子供たちに、どんな未来が待っているのだからかと思われ、気になるところである。

川柳

南久が原二丁目 板倉 正子

カレンダー〇をつけたが意味忘れ
夢で逢う亡夫はいつも旅姿
米をとぐ手触りも消ゆ無洗米

俳句

南久が原二丁目 小原 青文

むせぶよな 胡弓の音色 風の盆
ただ馬鈴 重ねるのみの 敬老日
貼哀し 下りの梁に 身をさらし

お詫び

前号の「川柳・俳句」のコーナーに誤字がありました。投稿者の方には多大なるご迷惑をおかけしました事をお詫び申し上げます。また、お詫びと共に、前号と同じ作業を訂正の上掲載させていただきました。

編集後記

新春を寿ぎ皆様、あけましておめでとうございます。ご紹介しました池上七福神初詣にお出掛けしていただきました。なんとなんとなく親しみ愛しさを感ぜませんか。今年も「さんぽみち」編集委員一同頑張ります。よろしくご指導ください。さいますようお願い申し上げます。皆様のご投稿お待ちしております。

編集長 池田 進太郎

鶉の木特別出張所管内	
人	男10,641名
	女11,085名
口	計21,726名
世帯数	10,697世帯
平成13年12月1日現在	